事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表（公表用）

放課後等デイサービスぴぃすた　　**記入年月日：令和6年3月15日**

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	児童の活動の場を分けて密を避ける。 公園などを活用し、十分に体を動かすことができるように配慮している
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	・いまはいないが、車イスや階段が上手く登れない子には2階はきつい ・階段には滑り止めのマットが敷かれている等の工夫がされている ・事業所の設備全体で考えた時、バリヤフリーは不十分
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		月1回の会議にて話し合って進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		支援の仕方や必要な物品の用意、玩具の配慮に努めている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページのトップページからはアクセスできない
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		市や県が実施しているセミナーや、事業所内研修を実施している。
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・定期的にモニタリングを行い保護者のニーズ等、聞きながら個別支援計画に反映させている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・施設で作成したアセスメントシートを使用 ・絵カード、個別のタイムスケジュール等、個々のレベルに合わせ必要があれば、使用している ・子供達の状況把握を会議の中で共有している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		朝礼時、一日の活動をスタッフで話し合い決めている。 午後から出勤のスタッフには来社時に口頭で伝達して情報共有し、活動がスムーズにいくよう努めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		担当スタッフを日替わりで決めて色々なスタッフの意見を取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇には平日にできない活動を積極的に取り入れている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動の時間は徐々に増えてはきているが、平日は支援時間も短い上に宿題に時間を取られる児童も多く課題は残っている

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼を行なっている。昼から出勤するスタッフにはLINEなどを活用してスタッフ全員の周知徹底をここらがけている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	○		終了時、口頭で連絡。次の日の朝礼で休みだった人にも伝わるようにし、情報共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録の記入。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援についての話し合いを行い、必要であれば見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		年間、月間の予定表を必ずもらい予定を確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	受け入れしていません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		前事業所からは個別支援計画や情報をもらい、継続した支援に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談事業所と密に連絡を取りながら、卒業間近のあたりから情報共有し、途切れのない支援ができるように努めている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		交流会に参加したり、市が開催している研修会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	放課後等デイサービスはあまりないが、学校ではあると思われる
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		可能な範囲で参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の直接的なコミュニケーションと連絡帳による間接的な情報交換をしている。その日にあったことや小さな発達など共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか		○	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書を用いて伝えている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		自事業所のみで難しい場合は相談事業所等にも 連絡して、解決するように努めている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在検討中
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ぴぃすた通信や行事の案内等その都度発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		発語のない児童には絵カードを使うなど行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今は地域住民を招待するような活動は行っていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	スタッフには研修を行っている。 保護者の方には周知できていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		2階に設置した部屋であるので避難方法を再度確認していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回の委員会を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		保護者の方からの要望で車内だけチャイルドシートを着用している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		どの子がどんなアレルギーがあるのかを周知するために支援室（キッチン）に貼ってある。現在、指示書が出るほどのアレルギーの子はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットは書いてもらっている。会議等で気を付ける点や対応等の情報は共有していく